

DUNLOP NEXT CUP 2017 スカラシップ

N-ONE OWNER'S CUP Rd.3 FUJI SPEEDWAY 参戦レポート

写真提供 杉原亮太

エントラント：チームダンロップ（ゼッケン101）
ドライバー：川福 健太

【予選 6位／45台中】

N-ONEでサーキット走行をするのも、富士スピードウェイを走るのも初めてでした。前日の占有走行はウェットとなり、ドライで走るのは予選からとなりました。コースインして計測1、2周目がタイヤグリップとエンジンのピークとなるので、コースインからアウトラップだけでアタックの準備を整える必要がありました。クリアラップを狙ってコースインするトップランカーに照準を合わせ、走りをトレースしながらスリップも使う作戦で予選に臨みました。狙い通りのシチュエーションで迎えた計測1周目を大きなミスなくまとめられ、上位レースが望める6番グリッドを得ることが出来ました。レースを迎えるまでシミュレーターや走行動画で作ったイメージ、レース関係者から頂いたアドバイスを存分に生かすことが出来ました。

【決勝 5位／45台中】

表彰台を狙うにはスタートから上位集団に離されずついていく必要があります。スタート混乱に巻き込まれやすいポジションの危険を回避することも重要でした。勝負のだいたいが決まるスタートで緊張する場面ではありましたが、集中してポジションをキープしながら上位集団のすぐ後ろにつきました。序盤からハイペースなポジション争いが前で繰り広げられましたが、そこには無理に加わらず、チャンスがあれば逃さないように様子を伺いました。その間にも走りとコース攻略を修正して、終盤へタイヤの温存も考えました。中盤、さらに激しくなった3位争いの中で順位をあげるチャンスが訪れ、1台をパスして5番手に上がり、4番手の背後につけることが出来ました。そこからプレッシャーを掛けて勝負に転じようと試みましたが、後半にペースをあげる余力が思ったより無く、離されないようにするのがやっとでした。追い上げてくるマシンにはアドバンテージをゴールまで保ち、5位となりました。

【コメント】

この度はスポンサー様をはじめ、様々な関係者の皆様のお陰でレースを無事に楽しく終えることが出来ました。どうも有難うございました。
再び4輪レースにチャレンジする機会を得られて嬉しかったです。

